

## 北海道むかわ町 2020年

都道府県別ランキング

| 転入超過 | 北海道むかわ町 | 北海道    |      |      |      |      |      |      |     |     |      |
|------|---------|--------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|
|      | 3人      | 青森県    | 岩手県  | 秋田県  | 山形県  | 福島県  | 宮城県  | 茨城県  | 栃木県 | 群馬県 | 埼玉県  |
|      |         | 408人   | 202人 | 186人 | 163人 | 151人 | 114人 | 111人 | 92人 | 87人 | 540人 |
| 転出超過 | 北海道むかわ町 | 北海道    |      |      |      |      |      |      |     |     |      |
|      |         | 東京都    | 神奈川県 | 千葉県  | 大阪府  | 京都府  | 兵庫県  | 石川県  | 宮崎県 | 広島県 | その他  |
|      |         | 1,917人 | 302人 | 270人 | 199人 | 148人 | 105人 | 91人  | 69人 | 48人 | 221人 |

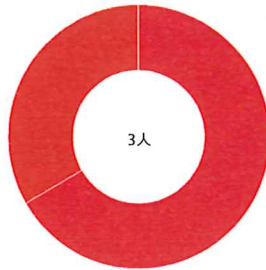
県内市区町村別ランキング

| 転入超過 | 北海道むかわ町 | 富良野市 | 札幌市中央区 |
|------|---------|------|--------|
|      |         | 2人   | 1人     |
| 転出超過 | 北海道むかわ町 |      |        |

【注記】  
 転入超過および転出超過は、住民基本台帳人口移動報告における転入数および転出数の公表集計表において、双方の集計表に自治体名が表示されている場合のみ算出している。  
 ランキングで表示される「その他」とは、最も右に表示される自治体の数値以下であって、その自治体の数値の合計を置す。  
 ※なおこの数値の合計には、同数の数値で複数自治体があり、ランキング上ですべて表示できない場合も含まれる。

### 転入超過数内訳

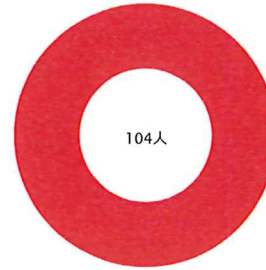
総数



- 1位 北海道室蘭市 2人 (66.67%)
- 2位 北海道札幌市中央区 1人 (33.33%)

### 転出超過数内訳

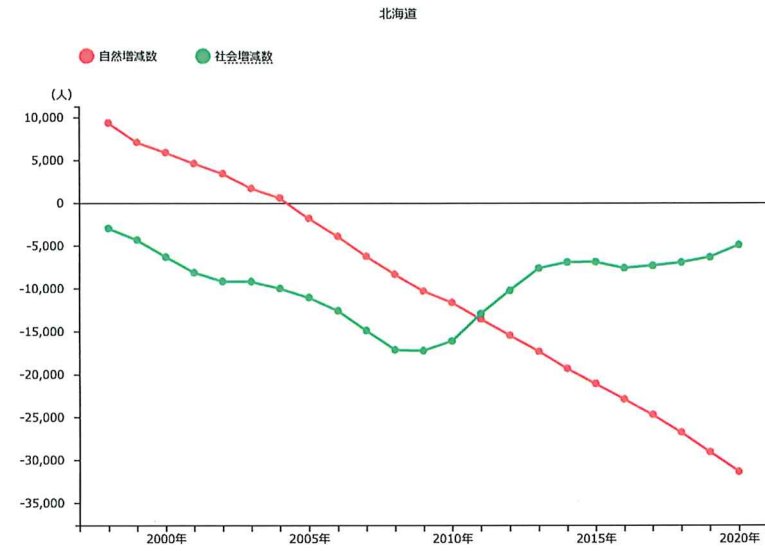
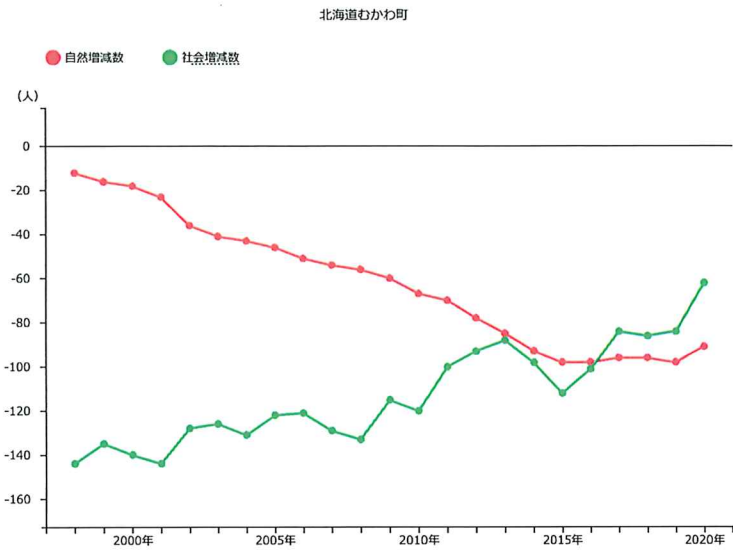
総数



- 1位 その他 104人 (100.00%)

【出典】  
 総務省「住民基本台帳人口移動報告」  
 【注記】  
 旭川市については、2012年4月1日に政令指定都市となったため、2012年のデータにおける旭川市に属する区のデータについては、4月から12月までの9か月分となる。  
 札幌市については2010年4月1日に政令指定都市となったため、2010年のデータにおける札幌市に属する区のデータについては、4月から12月までの9か月分となる。  
 道庁単位での移動超過は、市区町村単位の移動超過を足し上げて集計しているため、秘匿情報がある場合は、実際に把握できている移動数より少なくなることがある。  
 「住民基本台帳移動報告」における移動超過は、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）の規定により市町村に際出等であった転入者の日本国内の移動に係る情報を集計したものである（国外からの転入者及び国外への転出者は含まれていない）。また、本調査は、性別・年齢階級別に移動前の住所別転入者数・移動後の住所別転出者数を整理された公表集計表を用いて作成しているため2017年までは日本人のみ、2018年からは外国人を含む移動超過を表示している。  
 【参照メニュー】  
 人口マップ→人口の社会増減→From-to（転入人口）

【目的】自然増減（移動平均）と社会増減（移動平均）の推移を確認しよう。



【出典】

北海道庁：厚生労働省「人口動態調査」、総務省「住民基本台帳人口移動報告年報」  
市区町村：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

【注記】

北海道庁：2013年までは日本人のみ、2014年以降は外国人を含む数字。  
市区町村：2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

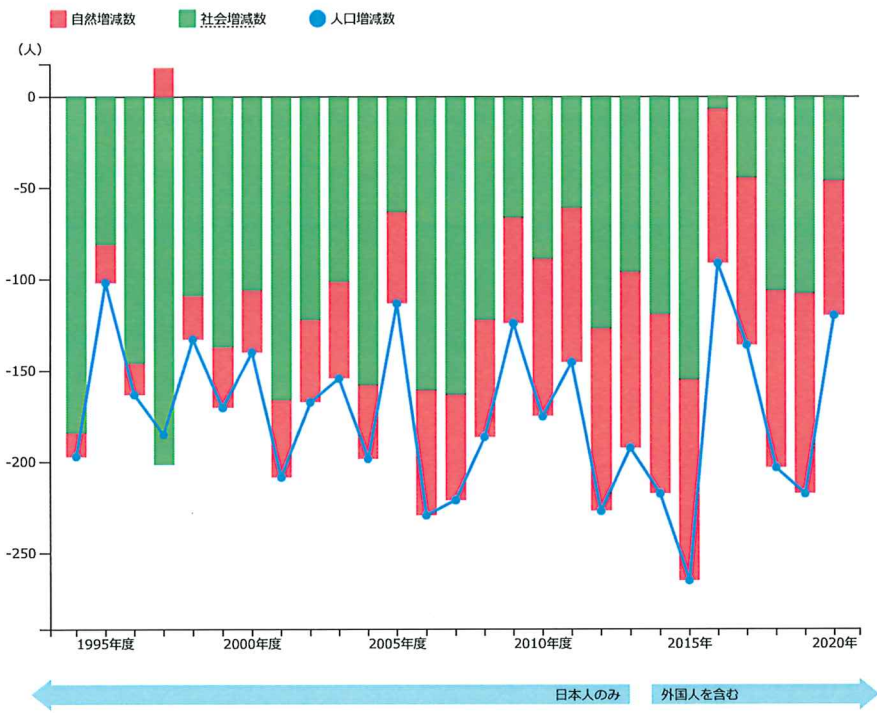
【その他の留意点】+

示唆

人口の社会減は1998年度から生じている。  
人口の自然減は1998年度から生じている。

【目的】自然増減と社会増減の推移を確認しよう。

北海道むかわ町



北海道



【出典】  
 都道府県：厚生労働省「人口動態調査」、総務省「住民基本台帳人口移動報告年報」  
 市区町村：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

【注記】  
 都道府県：2013年までは日本人のみ、2014年以降は外国人を含む数字。  
 市区町村：2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

【その他の留意点】 +  
 【参照メニュー】  
 人口マップ→人口増減→グラフを表示

示唆 人口の社会減は1994年度から生じている。  
 人口の自然減は1998年度から生じている。

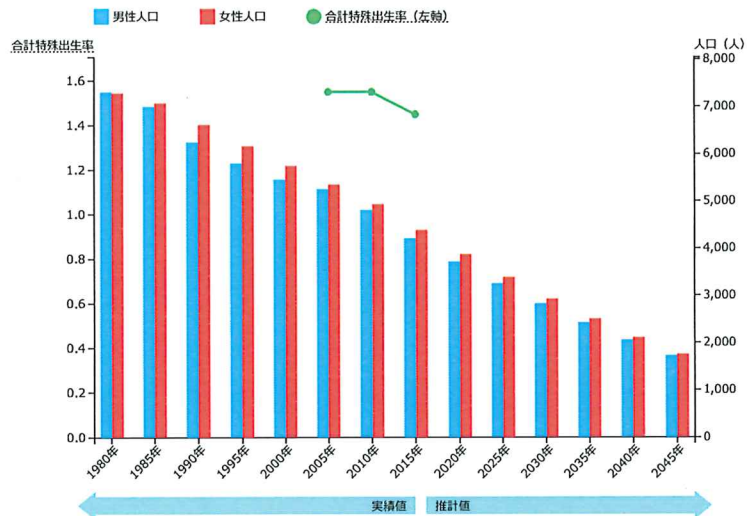
【目的】合計特殊出生率を確認し、人口の自然増減の状況を把握しよう。

2013-2017年合計特殊出生率

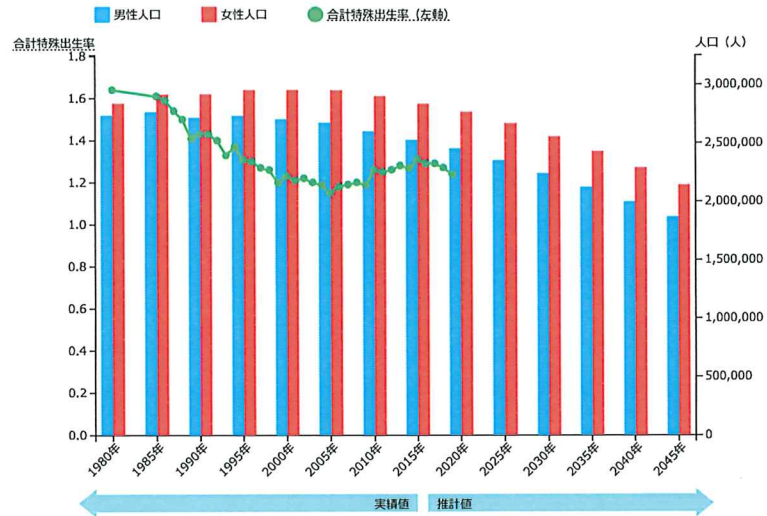
| 全国   | 北海道    | 北海道むかわ町 |
|------|--------|---------|
| 1.43 | 1.24 ※ | 1.45    |

※ 2019年の合計特殊出生率

北海道むかわ町 合計特殊出生率と人口推移



北海道 合計特殊出生率と人口推移



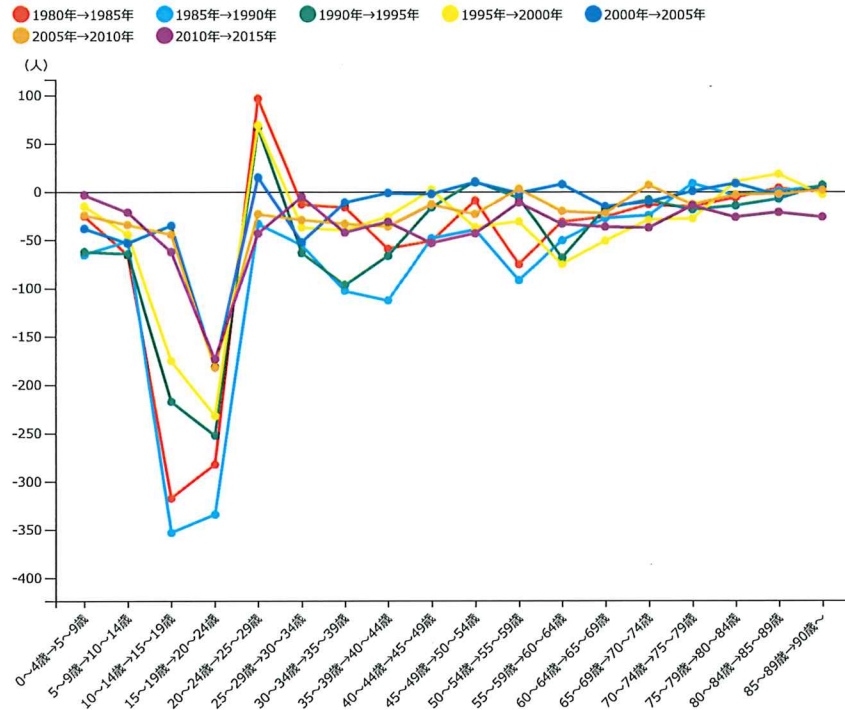
【出典】  
 総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」  
 【注記】  
 2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。  
 【その他の情報点】 +  
 【参照メニュー】  
 人口マップ→人口の自然増減→合計特殊出生率と人口推移

示唆

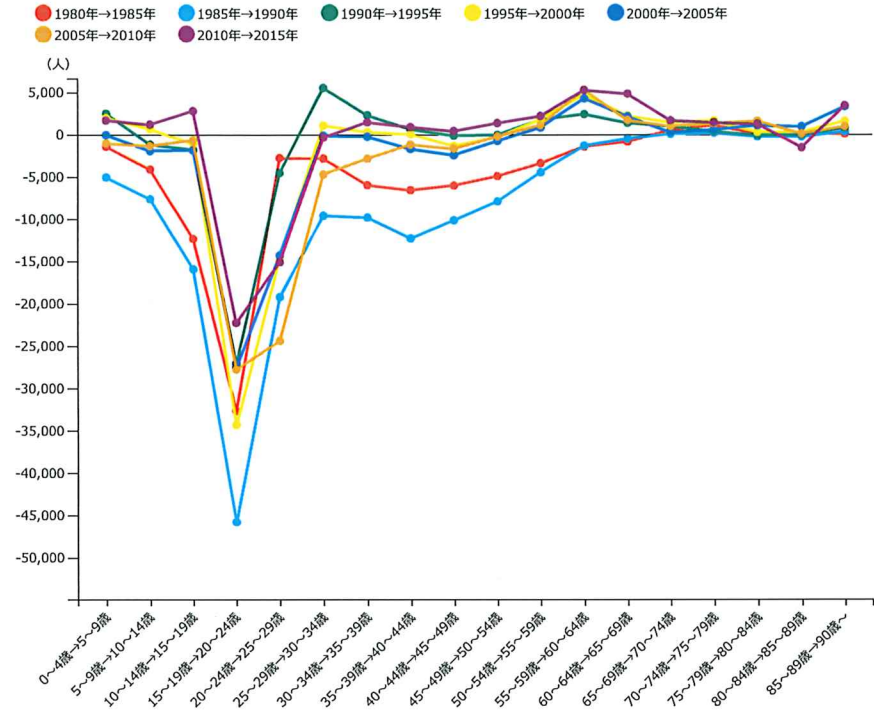
2013-2017年の合計特殊出生率は全国と比較して高い。  
 2013-2017年の合計特殊出生率は2019年の北海道と比較して高い。

【目的】 どの年代が転入（出）超過になっているかを確認し、人口の社会増減の状況を把握しよう。

### 北海道むかわ町



### 北海道



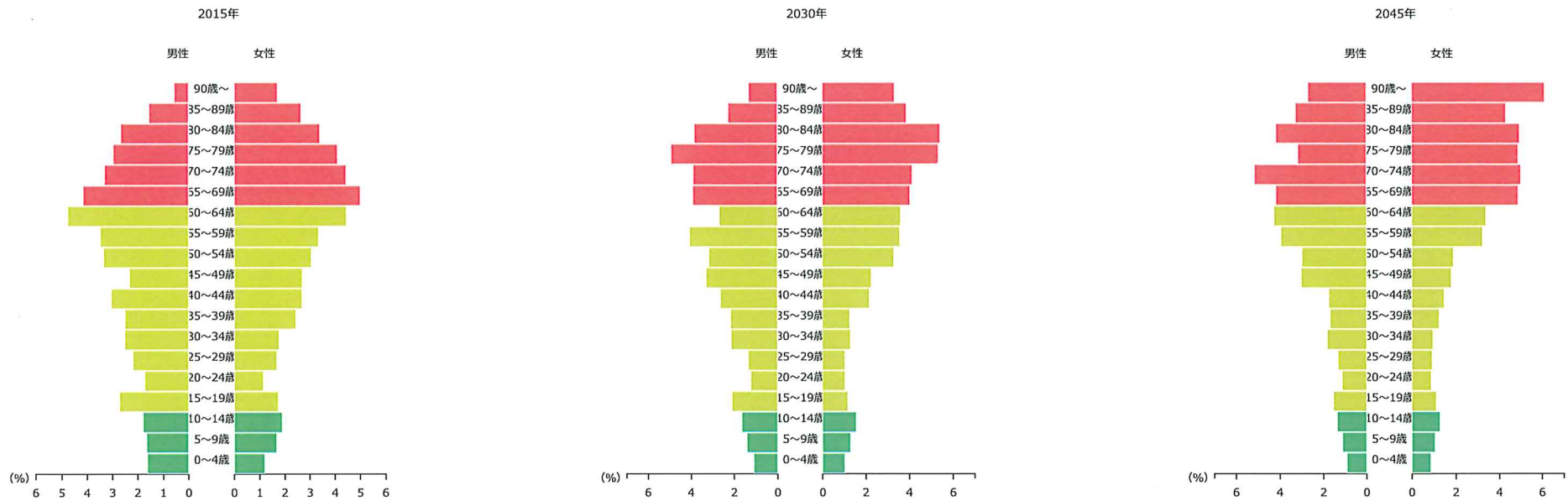
【出典】  
 総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成  
 【参照メニュー】  
 人口マップ→人口の社会増減→人口移動（グラフ分析）

示唆

2010年→2015年にかけて0~4歳→5~9歳の転入超過が多い。  
 2010年→2015年にかけて15~19歳→20~24歳の転出超過が多い。

【目的】人口の男女別・年齢別構成を把握しよう。

北海道むかわ町



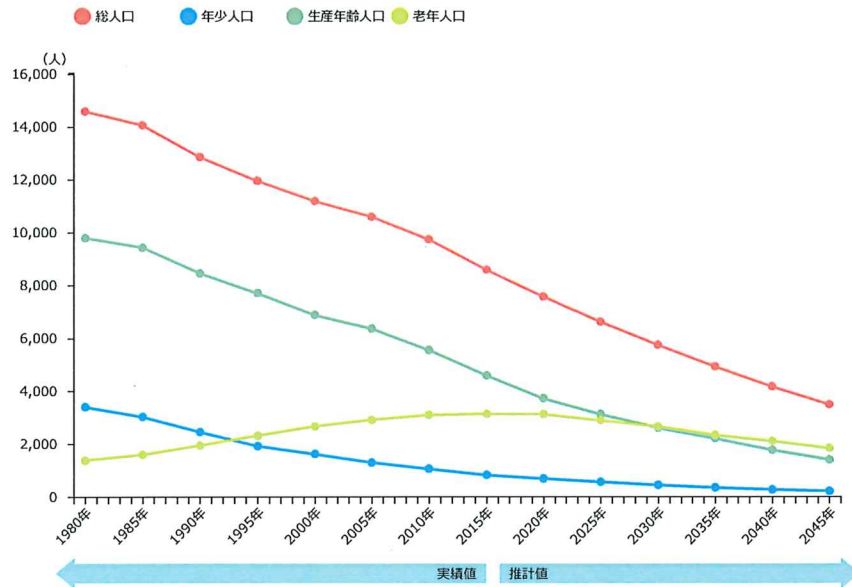
【出典】  
 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」  
 【参照メニュー】  
 人口マップ→人口構成→人口ピラミッド

示唆

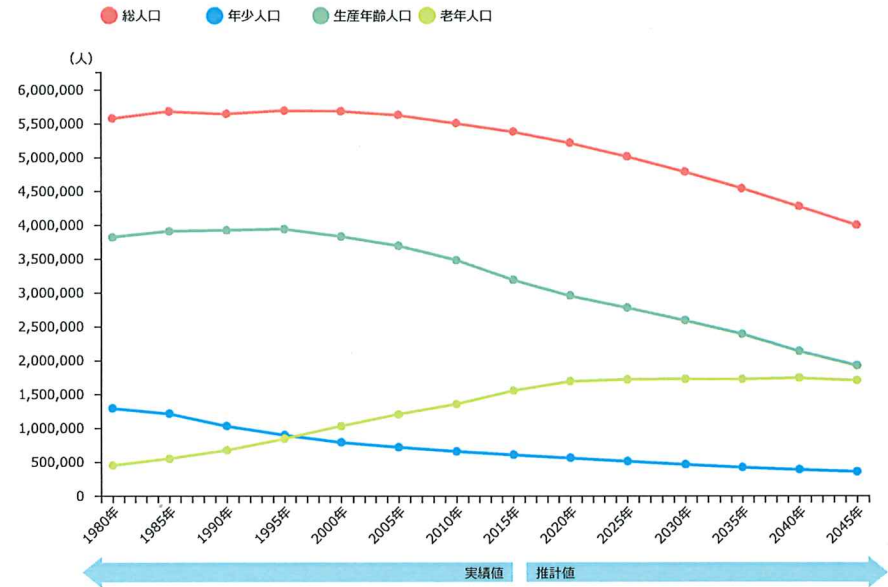
2015年から2045年にかけて老年人口（65歳以上）は41.2%減少する。  
 2015年から2045年にかけて生産年齢人口（15歳~64歳）は69.3%減少する。  
 2015年から2045年にかけて年少人口（0歳~14歳）は72.7%減少する。

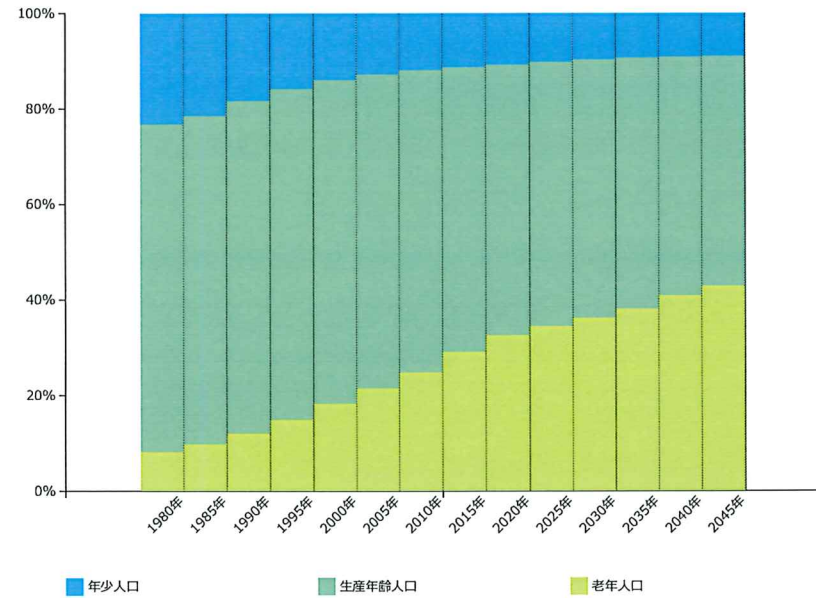
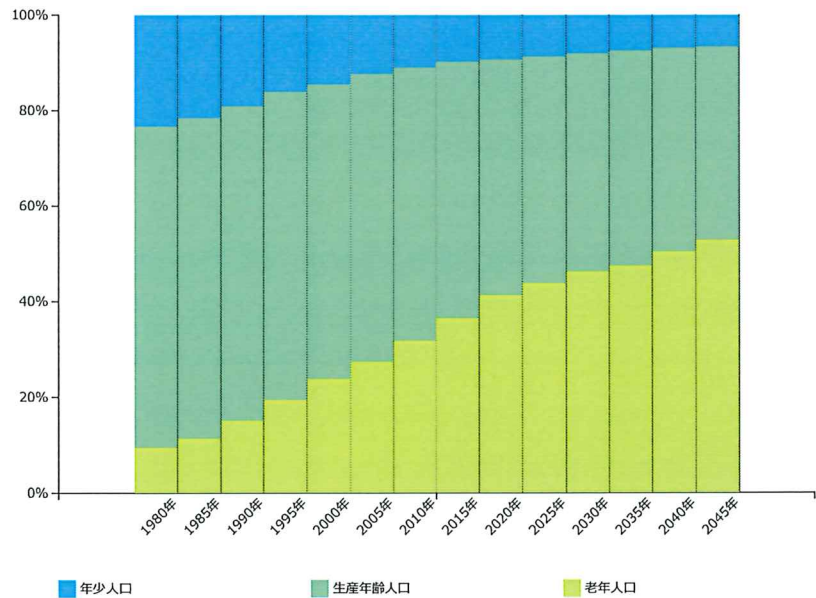
【目的】総人口・年代別人口がどのように推移するか把握しよう。

北海道むかわ町



北海道





【出典】  
 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」  
 【参照メニュー】  
 人口マップ→人口構成→人口推移

示唆

2015年の老年人口割合は北海道と比べて高い。  
 2015年の年少人口割合、生産年齢人口割合は北海道と比べて低い。  
 総人口は2015年と比較して2020年に88.2%、2030年に66.9%、2045年に40.7%になる。



北海道むかわ町

↑対象自治体が都道府県以上  
↓対象自治体が都道府県未満

| 推移情報     | 全国平均      | 都道府県平均    | 対象自治体     |   |
|----------|-----------|-----------|-----------|---|
| 年少人口割合   | 12.50% ※1 | 11.30% ※1 | 9.83% ※1  | ↓ |
| 生産年齢人口割合 | 60.03% ※1 | 59.29% ※1 | 53.62% ※1 | ↓ |
| 老年人口割合   | 26.33% ※1 | 28.96% ※1 | 36.54% ※1 | ↑ |
| 合計特殊出生率  | 1.43% ※2  | 1.24% ※3  | 1.45% ※2  | ↑ |

※1 2015年の数値  
※2 2013-2017年の合計特殊出生率  
※3 2019年の合計特殊出生率

| 推移情報 | 世代            | 全国転出超過元/転入超過元 |
|------|---------------|---------------|
| 転出超過 | 15～19歳→20～24歳 | その他           |
| 転入超過 | 0～4歳→5～9歳     | 北海道室蘭市        |

【出典】  
2015年 総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」  
2016年 総務省「在留基本台帳人口移動報告」  
年間簡易別転移動数：総務省「在留基本台帳人口移動報告」  
時系列分析：総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

まとめ  
の  
見  
方

- ・総人口は2015年と比較して2020年に88.2%、2030年に66.9%、2045年に40.7%になる。
- ・都道府県平均と比較して、人口構成割合を把握する。
- ・転出超過／転入超過世代を把握する。
- ・転出超過元／転入超過先の自治体を把握する。

【目的】主要産業の状況を確認し、効果的な施策検討につなげよう。

2016年 北海道むかわ町

↑ 特化係数が1 (全国平均) 以上  
↓ 特化係数が1 (全国平均) 未満

| 産業             | 売上高 (企業単位)<br>実数 (百万円) | 付加価値額 (企業単位)<br>実数 (百万円)<br>(特化係数) | 労働生産性 (企業単位)<br>実数 (千円/人)<br>(特化係数) | 従業者数 (企業単位)<br>実数 (人)<br>(特化係数) |
|----------------|------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
| 総合工業           | 5,719                  | ↑<br>1,671<br>(5.92)               | ↓<br>5,760<br>(0.90)                | ↑<br>290<br>(3.37)              |
| 農業             | 3,786                  | ↑<br>947<br>(44.54)                | ↓<br>2,050<br>(0.62)                | ↑<br>462<br>(36.38)             |
| 林業             | 2,465                  | ↑<br>593<br>(197.56)               | ↑<br>4,558<br>(1.55)                | ↑<br>130<br>(65.09)             |
| その他の事業サービス業    | 2,418                  | ↑<br>1,595<br>(8.74)               | ↑<br>6,431<br>(1.89)                | ↑<br>248<br>(2.34)              |
| 社会保険・社会福祉・介護事業 | 1,398                  | ↑<br>799<br>(10.06)                | ↑<br>3,027<br>(2.74)                | ↑<br>264<br>(1.88)              |

(注) 表示対象は、従業者数 (企業単位) の特化係数1以上の売上高上位5産業

(注) 付加価値額、労働生産性は企業単位のデータのため、本社が当該自治体以外の企業のデータが含まれない場合がある

【出典】

総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

【注記】

付加価値額 = 売上高 - 費用税額 + 給与税額 + 租税公課 (費用税額 = 売上原価 + 販売費及び一般管理費)

労働生産性 = 付加価値額 ÷ 従業者数

従業者 = 会社と個人事業所の従業者総数

【その他の留意点】 +

施策  
検討例

①売上高、付加価値額に課題がある産業

- ・ 販路拡大へ向けた新たなプロモーションを検討してみたいかがでしょうか。
- ・ 共通の産業に強みを持つ近隣自治体と連携し、同業種企業連携によるシナジー効果を生み出す施策を検討してみたいかがでしょうか。
- ・ 他産業とのコラボレーションにより、地域の強みを生かした新製品開発を検討してみたいかがでしょうか。

②労働生産性に課題がある産業

- ・ 当該産業の人材育成を実施する。また設備投資の促進施策を検討してみたいかがでしょうか。

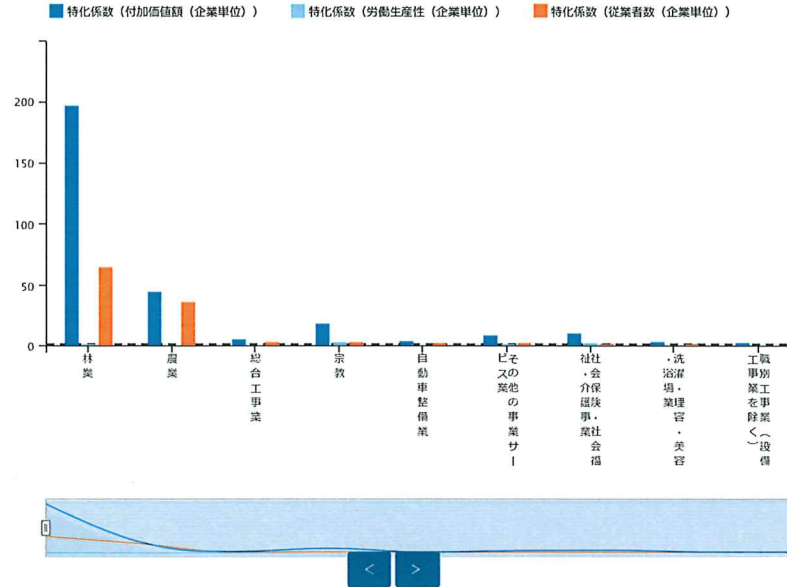
③従業者数に課題がある産業

- ・ 労働者が魅力を感じるような産業を確立するための取り組み、施策を検討してみたいかがでしょうか。
- ・ 雇用促進と所得向上を図るため、成長性のある産業の集積や関連企業の誘致を検討してみたいかがでしょうか。

【目的】付加価値額（企業単位）・労働生産性（企業単位）・従業者数（企業単位）の特化係数を確認し、稼ぐ力のある産業を把握しよう。

## 産業別特化係数 2016年

指定地域：北海道むかわ町



【出典】

総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

【注記】

特化係数：域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合、全国の当該産業の数値を1としたときの、ある地域の当該産業の数値。

特化係数の算出式は下記のとおり

・「特化係数（付加価値額）」

= (域内における当該産業の付加価値額÷域内における全産業の付加価値額) ÷ (全国の当該産業の付加価値額÷全国の全産業の付加価値額)

・「特化係数（従業者数）」 = (域内における当該産業の従業者数÷域内における全産業の従業者数) ÷ (全国の当該産業の従業者数÷全国の全産業の従業者数)

・「特化係数（労働生産性）」 = (域内における当該産業の労働生産性) ÷ (全国の当該産業の労働生産性)

労働生産性 = 付加価値額（企業単位）÷従業者数（企業単位）

【その他の留意点】 +

【参照メニュー】

産業構造マップ→全産業→稼ぐ力分析→グラフ分析

グラフ  
の見方

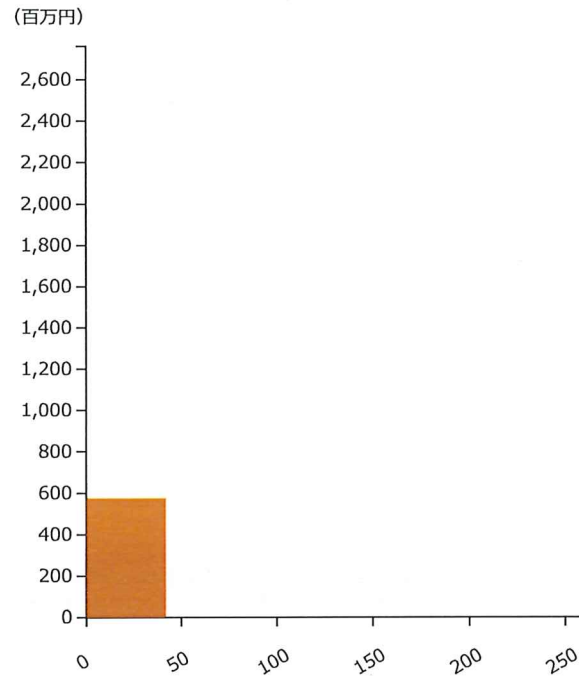
地域内の産業について、付加価値額（企業単位）・労働生産性（企業単位）・従業者数（企業単位）がそれぞれ全国と比べて特化（1を超えている）しているか否かを見ることで、産業ごとの課題把握に役立てる。  
グラフは従業者数（企業単位）の特化係数が1を超えている産業について、従業者数（企業単位）の特化係数に基づき左から降順で並べたもの。

## 製造業における製造品出荷額と従業者数の変遷

指定地域：北海道むかわ町  
( ) 内は上位10業種の占める割合

### 1999年

製造品出荷額計：4,393.02百万円 (13%)  
従業者数計：296人 (14%)

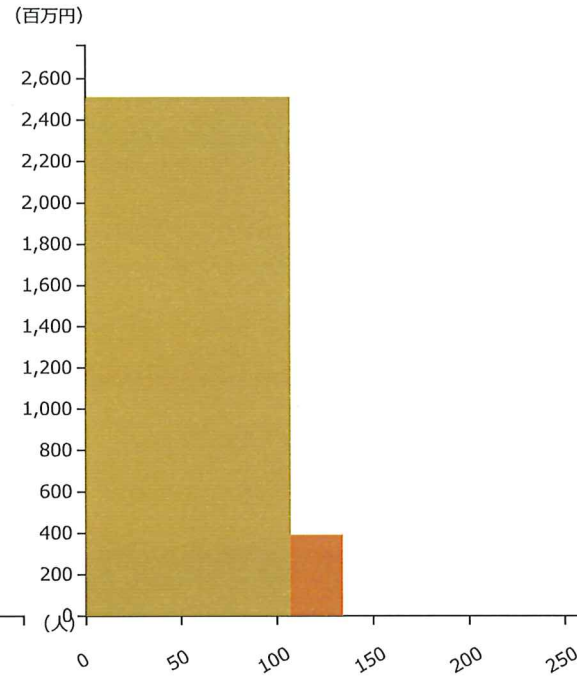


・縦軸は製造品出荷額 (百万円)  
・横軸は従業者数 (人)

■ 木材・木製品製造業 (家具を除く)  
42人 (14.19%)

### 2009年

製造品出荷額計：4,550.39百万円 (63%)  
従業者数計：242人 (55%)

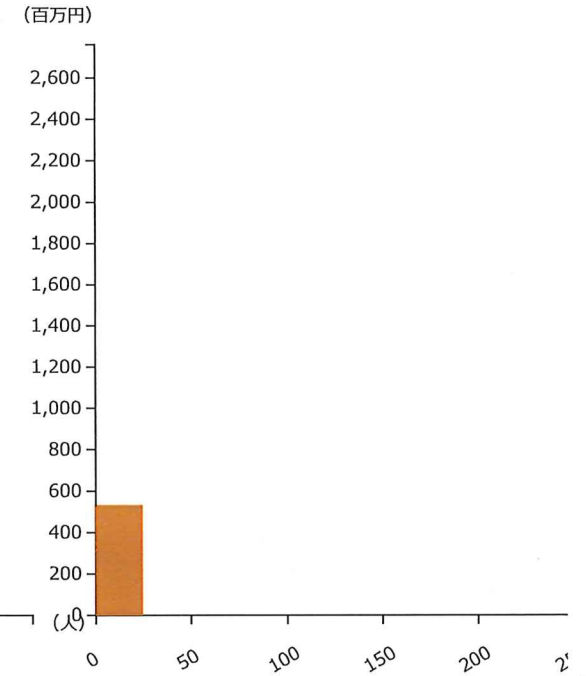


・縦軸は製造品出荷額 (百万円)  
・横軸は従業者数 (人)

■ 木材・木製品製造業 (家具を除く)  
27人 (11.16%)  
■ 窯業・土石製品製造業  
107人 (44.21%)

### 2019年

製造品出荷額計：2,658.91百万円 (19%)  
従業者数計：123人 (20%)



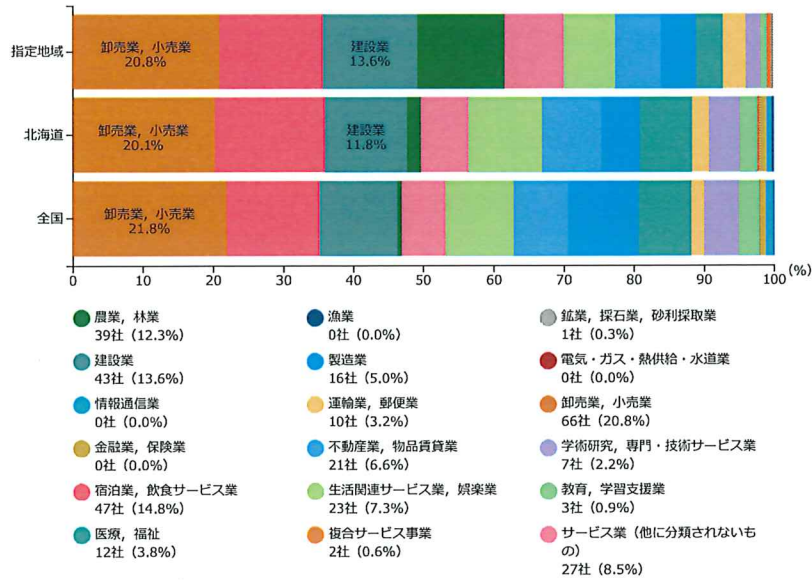
・縦軸は製造品出荷額 (百万円)  
・横軸は従業者数 (人)

■ 木材・木製品製造業 (家具を除く)  
25人 (20.33%)

【目的】地域の産業構造を全国の産業構造と比較しよう。

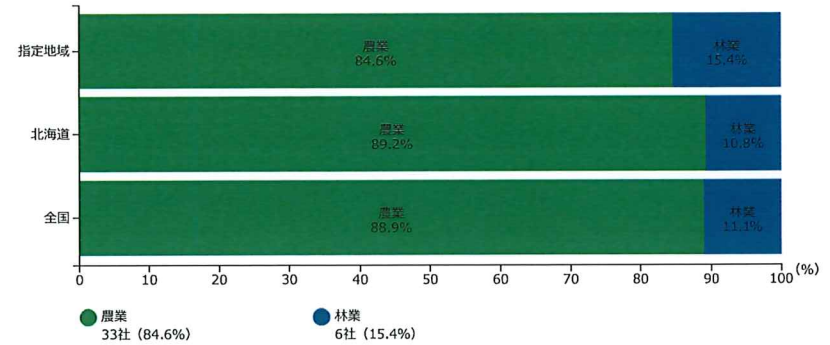
### 企業数(企業単位) 2016年

指定地域：北海道むかわ町



### 農業、林業

指定地域：北海道むかわ町



【出典】  
 総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工  
 【その他の留意点】+  
 【参照メニュー】  
 産業構造マップ→全産業→全産業の構造→構構グラフで割合を見る

示唆

2016年において、全国と比較して企業数(企業単位)の割合が高い産業は「宿泊業、飲食サービス業」、「建設業」、「農業、林業」、「サービス業（他に分類されないもの）」、「運輸業、郵便業」、「複合サービス事業」、「鉱業、採石業、砂利採取業」である。

【目的】地域の産業の全体像を把握しよう。

### 2016年 企業数(企業単位) 大分類

北海道むかわ町

企業数(企業単位) : 317社



【出典】  
総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工  
【その他の留意点】+  
【参照メニュー】  
産業構造マップ→全産業→全産業の構造

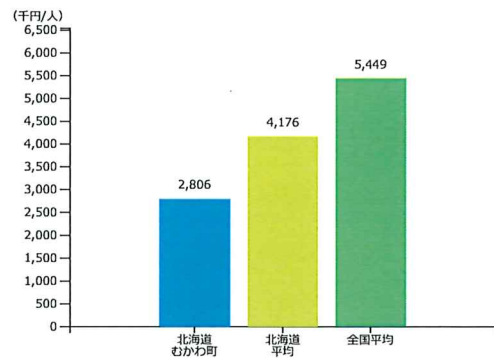
グラフ  
の見方

企業数・従業者数・売上高・付加価値額などの観点から、各産業分類が占める割合を確認する。

【目的】 特定産業の労働生産性を確認するとともに、参考とすべき自治体を把握しよう。

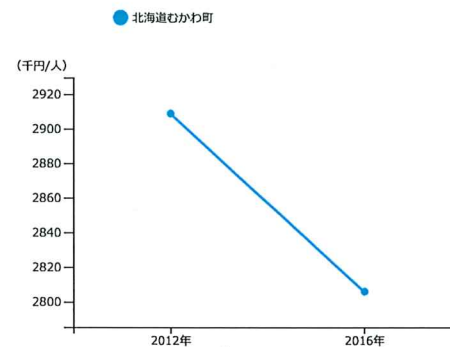
### 労働生産性（企業単位） 2016年

産業：すべての大分類 > すべての中分類



### 労働生産性（企業単位）の推移

産業：すべての大分類 > すべての中分類



【出典】

総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

【注記】

付加価値額÷従業員数で算出。

【その他の留意点】+

【参照メニュー】

産業構造マップ→全産業→労働生産性（企業単位）→グラフを表示

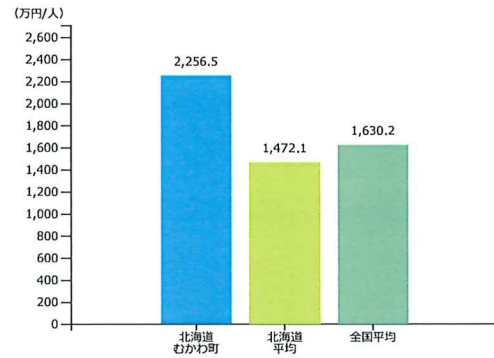
#### グラフ の見方

- ・類似自治体等と比較して、労働生産性が高いのか、低いのかを把握する。（左図）
- ・労働生産性の推移を、類似自治体と比較しつつ、把握する。（右図）
- ・より高い生産性を実現している自治体や労働生産性が向上している自治体等を把握することで、新たな取り組みを検討する上での参考とする。

【目的】 製造業の労働生産性を確認するとともに、参考とすべき自治体を把握しよう。

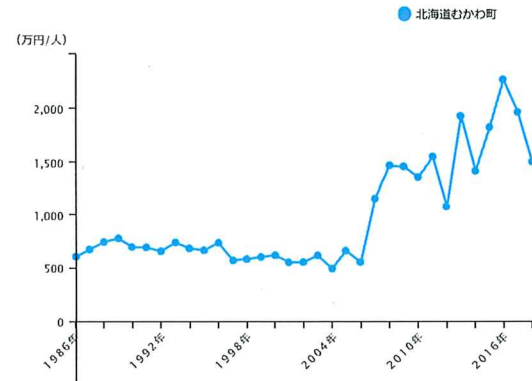
## 労働生産性（製造業の事業所単位） 2016年

産業：製造業 > すべての中分類



## 労働生産性（製造業の事業所単位）の推移

産業：製造業 > すべての中分類



### 【出典】

経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

### 【注記】

労働生産性=付加価値額÷常用従業員数

付加価値額（従業員30人以上の場合）

= 製造品出荷額等

- (原材料使用額+燃料使用額+電力使用額)

+ (年末在庫製造品-年初在庫製造品) + (年末在庫半製品-年初在庫半製品)

- (国内消費税額+推計消費税額)

付加価値額（従業員29人以下の場合）

= 製造品出荷額等 - 原材料使用額等 - (国内消費税額+推計消費税額)

製造品出荷額等 = 製造品出荷額計 + 加工賃収入額計 + 修理料収入額 + その他収入額計

常用従業員数は、個人事業主、無給家族従業員、及び臨時雇用者を除く従業員数

【その他の留意点】 +

### グラフ の見方

- ・類似自治体等と比較して、労働生産性が高いのか、低いのかを把握する。（左図）
- ・労働生産性の推移を、類似自治体と比較しつつ、把握する。（右図）
- ・より高い生産性を実現している自治体や労働生産性が向上している自治体等を把握することで、新たな取り組みを検討する上での参考とする。